

キャラクター名  
辻崎 伊織

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル ハヌマーン		ワークス	FHエージェントA	カヴァー	今風の若者
	オプション		年齢	21	性別	♂
覚醒	命令	衝動	殺戮		初期侵食率	33 %
出自	天涯孤独	経験	仲間の死		邂逅	欲望：居場所

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	3	1	0			4	行動値	5
感覚	2		0			2	(非装備時)	5
精神	1		0			1	戦闘移動	10
社会	2		0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	9		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：FH	1	
運転：			芸術：裁縫	1		知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
風斬糸	白兵	4r+4	0	12		
	白兵	11r+4		17		
	白兵	12r+4		17		ジャイアントグロウス 範囲と+2D 3×3+2×2+14+14+9+5
	白兵	12r+4		17+5D		死神の疾風、ジャイアントグロウス

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:FH幹部	
応急手当キット	

合計装甲： 0    合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
変異種:ハヌマーン	P	N		
玉野椿	P 親近感	N 敵愾心		
FHの悪友たち	P 連帯感	N 食傷		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8    残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	2	2	メジャー					
効果：								
電光石火	3	3	メジャー			対決		
効果： ダイスlv+1 技能：肉体・感覚 1d10生命点失う								
クロックアップ	2	4	メジャー			対決	Dロイス	
効果： 攻撃力+5、ダイス+3 シナリオlv+1回								
デモンズウェブ	5	2	オート	10m	単体		80	
効果： ダメージ算出後 IV+1Dのダメージ軽減 ラウンド一回								
ジャイアントグロウス	1	5	メジャー	武器	範囲(選択)		100	
効果： ダメージ2d 範囲(選択)に シナlv回								
限界突破/異形の加護/激情の早鐘	1	3	セットアップ					
効果：								
死神の疾風	1	5	イニシアチブ				120 アージ	
効果： 次の攻撃まで、行動値+10、ダメージ+3D								
彼方からの声	★	1	メジャー	視界				
効果： lvキロm先まで声を届かせたり、聞いたり出来る 必要ならRC								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

自身の髪から作り出した裁断糸で戦うFH戦闘員。コードネームは『曲弦士(ジグザグ)』。  
 幼くして一家が離散し、孤児となっていた所を組織に拾われるという典型的なパターン。中でも特に酷い境遇にあり、連日の過酷な任務において捨て駒のように扱われる少年時代を過ごしていた。  
 だがいつしかそんな環境にも慣れ始め、暗殺の技能を中心に優秀な戦闘員となっていく。癖の強いチルドレンの同僚達に対しては、辟易しつつも、家族にも似た連帯感を抱くようになっていた。  
 そんなあるとき、UGNのある要人の暗殺任務を単独で成功させたことをきっかけに、その功績が上層部に高く評価されることとなる。行動の制約が格段に緩められ、待遇も今までは比較にならなくなる。…だが、その価値を即座に理解できるほど、彼は外の世界を知ってるわけではなかった。  
 それから数年経ち、一応成人となった今、殺し以外にも色々興味の対象を見つけようとしている。最近の趣味は本と酒。居酒屋内は行きつけである。

恰好はBボーイズ風のパーカーや少し派手な装飾品など、意外に今風。もっと腕にシルバー巻くとかさあ！？  
 だが一応それには理由があり、任務時の癖で、目元や口元をフード等で隠そうとしてしまう、というもの。  
 目を引くのは色素が抜け落ちて雪のようになった銀髪で、その一本一本が鉄をも切り裂く不可視の暗器となる。また、成長期の栄養状態がアレだったために体は小柄で、身長もわりと低い。本人の数少ない悩み。  
 なお、UGNエージェントの玉野椿に対しては、周囲のノリの軽い仲間が自分と彼女を比較してどっちがどうだとかと噂しているのを散々聞いてきたため、少しだけ興味がある。同じ糸使いとして、機会があれば一度戦ってみたいと思っている。でもあの人、肉体1白兵7のメスゴリラなんだよな。無理だわ。